

2006年度(平成19年3月期) 第1四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社
2006年7月28日

2006年度第1四半期決算のポイント

1. 主力4製品を中心とした拡販により、売上高は予定通りの進捗
2. 販売費や研究開発費の発生は多くなく、経常利益は中間業績予想に対し70%超の進捗
3. 単純合算ベースでは、薬価改定・販売提携解消や工業所有権収入の減少により、減収・減益
4. 転進支援特別措置の実施により、特別退職金を特別損失に計上

2006年度第1四半期決算の概要

金額単位: 億円

	05年度1Q	05年度1Q 単純合算	06年度1Q	前年同四半期比	
				増減額	増減率
売上高	418	810	653	△157	△19.4%
営業利益	38	142	122	△20	△14.3%
経常利益	41	142	125	△17	△12.3%
四半期純利益	19	99	56	△44	△44.1%

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入しております。
前年同四半期比較は05年度1Q単純合算との比較です。

2006年度第1四半期 売上高

金額単位: 億円

	05年度1Q	05年度1Q 単純合算	06年度1Q	前年同四半期比	
				増減額	増減率
売上高	418	810	653	△157	△19.4%
うち医薬品	289	676	517	△159	△23.6%

(減収要因)

- ・アボットジャパン株式会社等との販売提携解消の影響
- ・工業所有権収入の減少
- ・薬価改定の影響

(増収要因)

- ・主力4製品を中心とした医薬品の販売数量増

主力4製品の売上高

	05年度1Q 実績	06年度1Q 実績	前年同四半期比	
			増減額	増減率
アムロジン	147	140	△7	△4.5%
ガスモチン	39	45	+5	13.6%
プロレナール	30	35	+5	15.0%
メロペン	35	36	+1	4.0%
計	251	255	+5	1.9%

国内売上高・リベート控除前（金額単位：億円）

売上原価・ 販売費及び一般管理費の内訳

金額単位: 億円

	05年度1Q 単純合算		06年度1Q		前年同四半期 比増減額
		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	810	—	653	—	△157
売上原価	376	46.4%	246	37.7%	△130
販売費及び 一般管理費	292	36.1%	285	43.6%	△7
内、研究開発費	98	12.1%	96	14.7%	△2
営業利益	142	17.6%	122	18.7%	△20

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

営業外損益及び特別損益の内訳

金額単位：億円

	05年度1Q 単純合算	06年度1Q	前年同四半期 比増減額
営業利益	142	122	△20
営業外収支	△0	3	3
経常利益	142	125	△17
特別損益	33	△29	△62
特別退職金	—	△29	
事業譲渡関連益	43	—	
合併関連費用	△9	—	
法人税等・少数株主利益	76	40	△36
四半期純利益	99	56	△44

2006年度業績予想(連結)

金額単位: 億円

	05年度	06年度	
	年間実績 (単純合算)	中間期予想	年間予想
売上高	3,182	1,270	2,600
営業利益	447	175	410
経常利益	422	170	400
当期純利益	253	75	210
研究開発費	418	—	420

* 2006年度業績予想は本年5月に公表した数値を変更していません。

臨床開発 第1四半期の進捗

アムビゾーム (SM-26000)	6月20日発売
メロペン (SM-7338)	第Ⅲ相試験を開始
塩酸アムルビシン	Cabrellis社 (旧Conforma社) が欧州で第Ⅱ相試験を開始

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。